



生きものの“つぶやき”：  
「はなれないでね」

エッセイ：

風がとても強い日でした。大きく揺れる葉とは対照に、蝶は微動だにしませんでした。細い六本の足で必死に葉にしがみついていたのです。蝶の繊細な見た目とは裏腹に揺るぎない生命力を感じました。蝶からすれば、足場は大きく揺れ、自分よりも大きい周囲の葉が襲い掛かるように向かってくるので、とても怖いだろうと想像しながら見ていました。少しして、蝶たちが乗っている葉がハートの形をしていることに気が付きました。この二羽の蝶はどのような関係なのか想像してみると、愛くるしい気持ちになります。私は誰かと一緒にいると心強さを感じますが、蝶も同じなのでしょう。二羽で一緒にいる姿を見ると、この蝶た

ちは何でも乗り越えていけるような気がします。きっと、今までも厳しい自然界で困難を乗り越えてきたのでしょう。これからも頑張って生き抜いてほしいです。(359字)

#### 生きものの紹介:

ヤマトシジミ: ヤマトシジミはチョウ目・シジミチョウ科・ヒメシジミ亜科のチョウの一種。前翅長は9-16mmほどで小型。日本には本州以南に分布する。

#### 撮影場所・日時:

埼玉県川口本三公園 2024年9月2日

#### 応募者の自己紹介:

1. 氏名: 大室 麻衣
2. 高校・学年: お茶の水女子大学附属高校・1年
3. 所属: 茶道部、大自然科学部

#### 審査員からのコメント:

ハートの葉っぱに集う2頭の蝶の仲睦まじい様子をストレートに表現していて、作者の優しさを感じます。

ハート形の葉にとまる2頭の蝶、想像が膨らみます。

交尾がハート形の葉っぱ、掛けている。